

タイ工場生産能力倍増

榛葉鉄工所 二輪車マフラー

【浜松】二輪車マフラーと農業機械のマフラー製造の榛葉鉄工所（静岡県掛川市、榛葉貴博社長）はタイの新工場を稼働した。二輪車大手が海外生産を拡大していることに対応し、10億円を投じて新工場を建設。旧工場から移転して生産能力を2倍に増やした。新たに四輪車部品の生産も始める。国内工場の受注が伸び悩む中、タイ工場の売上高を5年後に年20億円まで高める。

同社は中・大型二輪車

【浜松】二輪車マフラーと農業機械のマフラー製造を主力とする。掛川、御前崎市に計3工場を持ち、2008年にバンコク南東部のチョンブリ県の工業団地にリースで工場を確保した。稼働から4年たち受注が急増したため、同じ工業団地内に3万平方メートルの土地を購入した。旧工場の3倍にあたる延べ床面積6800平方メートルの新工場を建て、旧工場の設備を移管。今夏フル稼働を始めた。

素材となる鋼板からマフラーを一貫生産する。パイプ曲げ、溶接、プレス、研磨加工に使う設備を増強した。従業員は現在230人いるが、今後300人程度まで増やす計画だ。

日系企業向けに自動車の排気系部品の生産も始める。二輪車、農機のマフラー単品では受注量が変動するリスクが大きい。そのため、新たな生産設備を導入して稼働率を安定させる考えだ。